



桐花

大槌町立吉里吉里学園
小学部 通信 No.9
令和6年11月12日
文責 藤井

吉里吉里学園小学部の校報「桐花」は右のQRコードを読むことによってカラー版をご覧いただくことができます。(大槌応援団サイトへ) →



吉里吉里学園防災教育

吉里吉里学園小・中学部では震災の教訓を生かし防災意識を高めるため、小中一貫教育の1つとして合同避難訓練に取り組んでいます。内容は登校時の大地震発生による「津波避難」と小学部の体育館を利用した「避難所開設及び運営訓練」です。この訓練を通し、「将来どこにいても自他の命を守るために考え、行動できる人材の育成」を目指しています。



大きな地震から身を守る



津波避難(高台へ)



避難について振り返る



中学部生徒が避難所運営の準備



避難民役として協力



物資の運搬は小学部も手伝う



プールの水をトイレに運ぶ



低学年は避難者として参加



心肺蘇生救命も自分たちで



おにぎり作りの指導は婦人部のみなさん



震災時配られたおにぎりの再現



避難所運営について係の振り返り



小学部は引き渡し訓練も実施

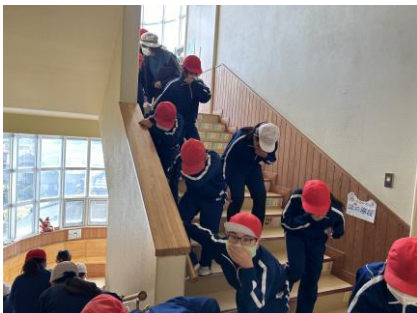


消防第3分団の皆様へ感謝

今回の訓練は「より実践的に行う」事を目標に取り組みました。中学部の生徒と小学部の児童がグループを組み、地域の皆様から震災時の運営について学び、協力して訓練する姿にこの地区の防災意識の高さを感じることができました。

小学部防災訓練

小中合同避難訓練に先駆けて、11月5日には小学部独自の防災訓練を実施しました。実施内容は地震に伴う火災の発生時の訓練を行いました。特に今年度は煙体験を校舎内で実施し、障害物がある中での避難の難しさを体験しました。その他、心肺蘇生法 避難滑り台体験 職員による消火栓放水訓練を大槌消防署の皆様を頂き行うことができました。9日の合同訓練と合わせて様々な訓練を体験することが出来ました。



防火扉が閉じた中、低い姿勢で避難。2分44秒で避難完了し消防署の方々の講評を聞きました。その後は理科室での煙体験。障害物をよけながらの脱出はかなり困難だったようです。心肺蘇生法では心臓マッサージの大切さを学ぶことが出来ました。

令和6年度釜石大槌地区小中連合音楽会(IN 釜石 TETTO)

今年も素晴らしい合唱を創り上げた4・5・6年生。連合音楽会でも感動的な合唱を披露してくれました。



連合音楽会合唱の様子はこちら ←